

日本筆記具工業会ニュース

JWIMA (Japan Writing Instruments Manufacturers Association)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-30-6

TEL(03)3891-6161 FAX(03)3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 2001.12.20/001号

<工業会の活動>

◎設立総会

日本筆記具工業会は10月1日、上野精養軒で設立総会を開催し、正式に発足しました。設立時の会員数は70社（69社、1団体）で、総会には100名を越える会員と関係者の出席を得ました。

本工業会は、日本鉛筆工業協同組合（理事長：数原英一郎／継続）、旧日本シャープペンシル工業会（理事長：小菅庄七）、旧東京万年筆事業協同組合（理事長：兜木利靖）、旧日本ボールペン工業協同組合（理事長：数原英一郎）、旧日本マーキングペン工業会（会長：堀江幸夫）の5生産者団体が統合して、連結による組織力の強化と発展、また活動の効率化をはかろうとするものです。

設立総会では、定款、事業計画及び予算等が審議・承認され、引続き役員選出を行い第1期役員人事を満場一致で可決しました。

具体的な事業推進にあたっては5つの委員会を設置し、副会長が各委員長に就任しました。会長から、事業内容については旧工業会・組合の意向を充分汲み上げること、全組合員参加の透明な事業運営に努めること等が提案され、これを受けて「組合員アンケート」を早々に実施することで一致しました。

総会後に実施した懇親会には多数の来賓のご出席をいただき、祝辞を頂戴しました。「業界が一丸となって『大きい体制』で変革の時代に備えることはとても意義あること」等、5団体の統合を評価し支援を約束したいとする声が多く寄せられました。

◎海外団体への報告

本工業会が10月1日発足したのを受けて国際委員会は、北米の「米国筆記具工業会(W I M A)」,並びにEUの「欧州筆記具工業会(E W I M A)」,「欧州鉛筆製造業者協会連合会(F E P M A)」に設立とその趣旨を知らせる英字の挨拶状を送付しました。これに対し各工業会は「歓迎する」との祝辞を早速に返信くださいました。

日本筆記具工業会 第1期（自2001年10月、至2003年3月）正副会長

初代会長	数原英一郎（三菱鉛筆株式会社代表取締役社長）
筆頭副会長	西村貞一（株式会社サクラクレパス代表取締役社長） 技術委員会（J I S 部会, I S O 部会, 知的財産部会）委員長
副会長	池野昌一（ぺんてる株式会社常務取締役） 流通委員会委員長
副会長	石川真一（ゼブラ株式会社代表取締役社長） 調査研究・広報委員会委員長
副会長	小川洋平（株式会社トンボ鉛筆代表取締役社長） 国際委員会委員長
副会長	高橋清（株式会社パイロット常務取締役） 総務委員会委員長

2001. 10. 01

◎JWIMAを商標登録申請

本工業会が10月1日発足したのを受けて事務局は、「JWIMA」の商標登録申請を同日行いました。

◎会員アンケートを実施

会長の方針を受けて執行部は11月、会員を対象に(1)「工業会の運営に関するアンケート」(2)「委員会所属ご希望について」のアンケートを実施しました。多数の回答が寄せられ、新生工業会に対する皆様の期待の大きさを物語りました。集計・分析は第三者機関に依頼し、12月20日の臨時総会で報告できるよう準備をすすめてきました。

2001年1月～6月の出荷・輸出・輸入

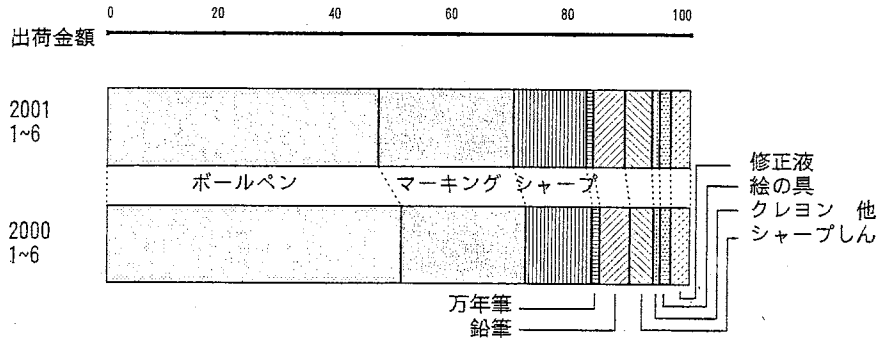
雑貨統計（国内向け販売と輸出向け販売を含む）

（金額は百万円）

出荷	単位	2001年1-6月度		2000年1-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	822,987	40,673	1,047,943	49,744	△ 21.5	△ 18.2
マーキングペン	千本	387,320	20,155	401,287	21,069	△ 3.5	△ 4.3
シャープ	千本	159,986	10,957	165,451	11,401	△ 3.3	△ 3.9
万年筆	千本	1,120	969	1,304	1,263	△ 14.1	△ 23.3
鉛筆	G	1,446,638	4,836	1,456,514	5,067	△ 0.7	△ 4.6
シャープしん	千本	2,069,601	3,856	2,132,050	3,815	△ 2.9	1.1
クレヨン・パス	千本	73,497	1,114	75,358	1,144	△ 2.5	△ 2.6
水彩絵の具	千本	38,932	1,599	42,072	1,717	△ 7.5	△ 6.9
修正液	千本	33,008	3,332	36,594	3,620	△ 9.8	△ 8.0
合計金額			87,491		98,840		△ 11.5

Gはクロス（144本） 2001年の数量・金額は年報等と若干異なる場合があります。

雑貨統計出荷金額に見る
品目別構成比と
その前年同期比



日本貿易統計

（金額は百万円）

輸出	単位	2001年1-6月度		2000年1-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	573,694	23,626	798,888	31,459	△ 28.2	△ 24.9
マーキングペン	千本	159,732	6,911	185,992	7,929	△ 14.1	△ 12.8
シャープ	千本	106,344	5,029	109,543	5,371	△ 2.9	△ 6.4
万年筆	千本	2,440	286	4,198	536	△ 41.9	△ 46.6
以上のセット品	千S	402	67	826	133	△ 51.3	△ 49.6
鉛筆	G	176,457	224	368,603	269	△ 52.1	△ 16.7
シャープ用しん(鉛筆しんを含む)	kg	250,704	1,748	252,286	1,634	△ 0.6	7.0
クレヨン	kg	16,018	56	17,067	49	△ 6.1	14.3

Gはクロス（144本）

ボールペン用中芯	千本	96,863	1,389	90,290	1,334	7.3	4.1
マーキングペン用ペン先及びニブポイント	千本	1,889,635	3,185	1,832,073	2,996	3.1	6.3
シャープ部品・付属品	kg	109,575	506	85,920	589	27.5	△ 14.1
万年筆及びボールペンの部分品	kg	484,569	1,814	642,315	2,070	△ 24.6	△ 12.4
合計金額			44,841		54,369		△ 17.5

日本貿易統計

（金額は百万円）

輸入	単位	2001年1-6月度		2000年1-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	74,607	3,040	54,083	2,383	37.9	27.6
マーキングペン	千本	100,994	1,095	95,030	1,043	6.3	5.0
シャープ	千本	13,447	597	22,685	698	△ 40.7	△ 14.5
万年筆	千本	539	602	512	579	5.3	4.0
以上のセット品	千S	941	68	412	33	128.4	106.1
鉛筆及びクレヨン	kg	646,864	629	503,479	541	28.5	16.3

ボールペン用中しん	千本	17,194	185	15,230	177	12.9	4.5
ペン先及びニブポイント	千本	102,541	117	68,182	89	50.4	31.5
ボールペン又はシャープの部品及び付属品	kg	278,739	830	386,588	1,075	△ 27.9	△ 22.8
ペン軸、その他部分品	kg	56,193	161	78,568	173	△ 28.5	△ 6.9
合計金額			7,324		6,791		7.8

2001年7月～9月の出荷・輸出・輸入

雑貨統計（国内向け販売と輸出向け販売を含む）

（金額は百万円）

出荷	単位	2001年7-9月度		2000年7-9月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	343,590	16,861	441,305	21,279	△ 22.1	△ 20.8
マーキングペン	千本	172,916	9,493	192,625	10,292	△ 10.2	△ 7.8
シャープ	千本	70,869	4,674	85,746	5,089	△ 17.1	△ 8.2
万年筆	千本	304	300	483	361	△ 37.1	△ 16.9
鉛筆	G	468,591	1,513	567,554	1,813	△ 17.4	△ 16.5
シャープしん	千本	877,637	1,576	932,879	1,571	△ 5.9	0.3
クレヨン・パス	千本	22,956	287	25,629	312	△ 10.4	△ 8.0
水彩絵の具	千本	18,083	810	20,783	872	△ 13.0	△ 7.1
修正液	千本	13,719	1,335	14,631	1,426	△ 6.2	△ 6.4
合計金額			36,849		43,015		△ 14.3

Gはグロス（144本） 2001年の数量・金額は年報等と若干異なる場合があります。

◎2001年第3四半期（7～9月）の出荷合計は368億円で、前年同期比は14%減だった。同年1～2四半期（1～6月）の前年同期比が12%減だったことから、上期のマイナス傾向を深めることになった。輸出は製品の第3四半期合計が183億円で前年同期比は18%減と振わなかった。輸入は全体では微増だったが、通期でボールペンの増加が目立った。

◎品目別に見るとボールペンの出荷・輸出共2割以上（金額）のマイナスを示し、過去約8カ年、水性・ゲルインクボールペンの商品力を武器にした拡大基調に、本年初めて頭打ち傾向を示した。マーキングペン

は出荷・輸出共1割程度の減少だった。シャープは輸出数量の減少が2割を越えた。万年筆は出荷数量の落ち込みが37%と激しかった。鉛筆の出荷は数量金額共16%前後の減少だった。輸出数量は2分の1と激減したが、金額が1割増加し、低価格鉛筆の国際市場に異変が起きていることをうかがわせた。シャープしんは出荷・輸出共マイナスが軽微で、悪い材料が多い中、よく踏みとどまった。部品では品質改善めざましいボールペンしんが約16倍（7～9月）の輸出超過だった。

◎製品の出荷から輸出を除き輸入を加えた「国内消費力推定」（7～9月）は「マイナス8%」だった。

日本貿易統計

（金額は百万円）

輸出	単位	2001年7-9月度		2000年7-9月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	251,725	10,733	360,312	14,215	△ 30.1	△ 24.5
マーキングペン	千本	79,633	3,559	88,096	3,739	△ 9.6	△ 4.8
シャープ	千本	50,027	2,611	66,099	3,060	△ 24.3	△ 14.7
万年筆	千本	1,391	179	1,452	167	△ 4.2	7.2
以上のセット品	千S	374	31	162	26	130.9	19.2
鉛筆	G	50,874	105	117,660	95	△ 56.8	10.5
シャープ用しん（鉛筆しんを含む）	kg	155,341	1,043	148,568	885	4.6	17.9
クレヨン	kg	7,730	18	6,957	19	11.1	△ 5.3
ボールペン用しん	千本	58,250	834	49,845	729	16.9	14.4
マーキングペン用しん先及びニブポイント	千本	791,844	1,262	886,821	1,574	△ 10.7	△ 19.8
シャープ部品・付属品	kg	57,884	356	64,352	330	△ 10.1	7.9
万年筆及びボールペンの部分品	kg	298,811	1000	312,994	1,395	△ 4.5	△ 28.3
合計金額			21,731		26,234		△ 17.2

Gはグロス（144本）

日本貿易統計

（金額は百万円）

輸入	単位	2001年7-9月度		2000年7-9月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	45,978	1,436	25,055	1,046	83.5	37.3
マーキングペン	千本	35,795	537	40,326	520	△ 11.2	3.3
シャープ	千本	6,811	237	13,675	380	△ 50.2	△ 37.6
万年筆	千本	281	205	257	217	9.3	△ 5.5
セット品	千S	482	40	109	14	342.2	185.7
鉛筆及びクレヨン	kg	249,364	144	198,410	183	25.7	△ 21.3
ボールペン用しん	千本	4,550	53	3,193	45	42.5	17.8
ペン先及びニブポイント	千本	13,428	23	31,860	38	△ 57.9	△ 39.5
ボールペン又はシャープの部品及び付属品	kg	123,487	330	181,147	472	△ 31.8	△ 30.1
ペン軸、その他部分品	kg	14,787	45	17,170	60	△ 13.9	△ 25.0
合計金額			3,050		2,975		2.5

<雑貨統計、日本貿易統計が変わります>

★雑貨統計が2002年1月から改正されます。

- 「修正テープ」が新たに統計調査対象品目に加わります。
- 「万年筆」の統計が削除になります。
- 全品目の「輸出内訳」欄が削除になります。

★日本貿易統計が2002年1月から改正されます。

2002年(平成14年)1月から「ボールペン」と「マーキング用のペン先」等の品目表と品目番号が変わります。11月9日、官報告示されました。ボールペンは「油性」と「水性及びゲルインク」を別個に申告します。また「マーキング用のペン先」及び「その他のもの」がひとつに統合され、「ペン先及びニブポイント」となります。

ボールペンが油性とその他に2分類され、ペン先及びニブポイントがひとつに統合されます

新(2002年1月から)		
統計品目番号		品名
9608.10		ボールペン
	100	油性ボールペン
	900	その他のもの(注)
6908.91	900	ペン先及びニブポイント

(注)は水性及びゲルインクボールペン

旧(2001年12月末日まで)		
統計品目番号		品名
9608.10	100	ボールペン
6908.91		ペン先及びニブポイント
	100	マーキング用のペン先
	900	その他のもの

説明 「雑貨統計」とは

正式には「経済産業省生産動態統計調査」と呼びます。調査の対象になる申告義務者は、文具を生産する事業所のうち、事業所全体の常用従業員が20名以上の事業所です。

説明 「日本貿易統計」とは

日本から輸出及び日本に輸入された貨物について税関通過の際、提出された資料に基づいて作成された貿易資料で、財務省が公表します。

尚、以上の調査規則から、雑貨統計の「輸出」と日本貿易統計の「輸出」の数量・金額に違いが生ずる場合があります。

<JIS改正のお知らせ>

ことし(2001年)9月に開催されました日本工業標準調査会標準部会・消費生活技術専門委員会で、当工業会等に係る4つの規格の改正原案が審議され承認されました。施行は2002年1月20日、またはそれ以降の予定です。主な改正点は下の通りです。尚、(原)は原案作成機関名です。

これらの規格の詳細についてのお問い合わせは、財団法人日本文化用品安全試験所(担当・村田次長、03-3829-2509)、または当工業会事務局までご連絡ください。

シャープペンシル JIS S 6013
(原)旧日本シャープペンシル工業会

- シャープペンシルに付ける消しゴム又はプラスチック字消しを有害物質の対象にした。
- キャップの安全要件を新たに追加規定した。

万年筆及びそのペン先 JIS S 6025
(原)旧東京万年筆事業協同組合

- 万年筆用ペン先及び万年筆の規格を統合し、規格名称を改めた。
- さび止め耐食性、ペン先の外観、ペンポイントの開き、ペン先の耐摩耗性の品質規定を現状に即して改めた。
- 有害物質の規定を新たに追加規定した。

プラスチック字消し JIS S 6050
(原)日本字消工業会

- 有害物質の規定を3元素から8元素に改めた。
- 巻紙がある場合には、再生紙を使用するよう新たに追加規定(推奨)した。
- 材料表示(塩化ビニル樹脂製又は非塩化ビニル樹脂製の別)を新たに追加規定した。

事務用修正液 JIS S 6055
(原)旧日本マーキングペン工業会

- 乾燥性の品質規定の内容を改め、耐温度性の品質規定は削除した。
- キャップを締める際の取扱上の注意事項の表現を改め、更に、使用前の注意事項を追加規定した。

「日本筆記具工業会ニュース」は本号を第1号に、広報委員会から3か月毎、年4回発行していく計画です。統計資料の速報及び本工業会の活動等を報告してまいります。編集内容に対する会員の皆様のご意見ご希望をお待ちしております。

尚、本工業会は本年12月29日(土)から来る新年1月6日(日)まで、年末年始のお休みを頂戴いたします。どちら様も、健やかな新年をお迎えになられますようお祈り申し上げます。